



# 東京バッハ合唱団 第114回定期演奏会

The 114<sup>th</sup> Regular Concert BACH-CHOR, TOKYO

## J. S. Bach

[日本語演奏・大村恵美子訳詞]

— Performance in Japanese Version by OHMURA Emiko —

### カンタータ第14番《かたえに 主 いまさずば》

日本語演奏初演

Wär Gott nicht mit uns diese Zeit BWV 14

### 『アンナ・マクダレーナ・バッハの音楽帳』(II)より、10曲の声乐作品

10 Vokal Works from „Klavier Büchlein für A. M. Bach 1725“ BWV 299, 508-518 日本語演奏初演

### カンタータ第82番《われ 足れり》

Ich habe genug BWV 82

### カンタータ第140番《目覚めよと呼ばわる 物見の声 高し》

Wachet auf, ruft uns die Stimme BWV 140



ソプラノ 光野孝子

ELTSUNO Takako, Sopran

テノール 鏡 貴之

KAGAMI Takayuki, Tenor

バス 山本悠尋

YAMAMOTO Yukihiko, Bass

オーケストラ

東京カンタータ室内管弦楽団  
TOKYO CANTATA CHAMBER ORCHESTRA

オルガン 草間美也子

KUSAMA Miyako, Organ

合唱 東京バッハ合唱団

BACH-CHOR, TOKYO

指揮 大村恵美子

OHMURA Emiko, Conducting

# 12/3 (土) 午後2:00 開演

Saturday 3 December 2016, 2.00 pm

## 府中の森芸術劇場ウィーンホール

Vienna Hall, Fuchu-no-Mori Theater

(京王線「東府中」駅北口下車8分、裏面に案内)

●挿画:「バッハと家族の朝の礼拝」  
E.T.Rosenthal, 1870.『アンナ・マクダレーナ・バッハの音楽帳 1725』への書き込みが始まったころのバッハの家庭を彷彿とさせる。

[入場券] 全席自由席: 前売り 3500円、当日 4000円 Tickets: ¥3500 (in advance)、¥4000 (on the day)

[ご購入/問合せ] 東京バッハ合唱団事務局 (お申し込みください、郵送いたします。裏面に申込みフォーム)

Tel. 03-3290-5731 Fax: 03-3290-5732 E-mail: office@bachchor-tokyo.jp URL: http://bachchor-tokyo.jp/

[主催] 東京バッハ合唱団 Presented by BACH-CHOR, TOKYO

[後援] ドイツ連邦共和国大使館 Supported by Embassy of the Federal Republic of Germany in Japan





### 光野孝子 (ソプラノ) みつ・たかこ

島根大学教育学部特別音楽課程卒業。オペラでの活躍に加え、宗教曲においてもバッハを中心に多くの作品でソリストを務めている。2006年ライブツィヒ・バッハフェスティヴァルに、樋口隆一指揮・明治学院バッハアカデミー合唱団のソリストとして出演、好評を博す。当合唱団の音楽指導のほか、合唱指揮の分野でも活躍中。二期会会員。



### 鏡 貴之 (テノール) かがみ・たかゆき

東京芸術大学大学院修士課程独唱専攻修了。主にオラトリオ、宗教曲のソリストとして活躍中。バッハの作品では多数のソロを務め、活動の中心になっている。2007年当合唱団「マタイ受難曲」エヴァンゲリストで絶賛を博し、以来続演。BCJ声楽メンバー。2012年第4回東京国際声楽コンクールにて第1位・東京新聞賞・審査員特別賞受賞。



### 山本悠尋 (バリトン) やまもと・ゆきひろ

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科独唱専攻を首席にて修了。修了時に大学院アカンサス音楽賞、武藤舞賞を受賞。モーツァルト「レクイエム」、バッハ「ヨハネ」「マタイ」両受難曲のほか、「第九」「メサイア」等でソリストを務める。東京バッハ合唱団とは2014年の第111回に初出演以来つづけて協演、発声指導にも携わっている。

### 大村恵美子 (主宰/指揮/訳詞)

東京芸術大学楽理科・作曲科卒業後、ストラズブル大学と音楽院に留学。在学中よりバッハのカンタータ演奏を志し、1962年帰国とともに合唱団設立、2012年に50周年を迎えた。バッハ宗教合唱作品のほぼ全曲の上演用訳詞を完成、多くは自らの指揮で上演。著書・訳書多数。現在、日本語版バッハ・カンタータ楽譜全集刊行中 (既刊69曲)。



## 東京バッハ合唱団

### 東京バッハ合唱団

教会カンタータを中心にバッハの作品のみを演奏し、研究する団体として1962年大村恵美子の呼びかけで組織された。都内での定期演奏会や各地の教会等での200回を超える公演を、1975年までは主に小林道夫氏、その後は大村恵美子の指揮で行っている。国内では日本語上演を原則とする。ライブツィヒ聖トーマス教会 (1983年、日本の合唱団初) などドイツを中心に海外巡演も5回を数える。



### 東京カンタータ室内管弦楽団

東京バッハ合唱団のカンタータ連続演奏企画に共鳴して、1979年、大村恵美子の常任指揮者就任と同時に結成、以来30年を超える協演をつづけている第一線の演奏家グループ。声楽パートとともに練習を重ね、カンタータ本来のあり方に沿った奏法を特色としている。一流オーケストラ、アンサンブル等の主要メンバーからなり、全員がバッハ演奏のエキスパートである。

## バッハ《ロ短調ミサ曲》[日本語演奏・再演!!]

東京バッハ合唱団 創立55周年  
宗教改革500周年  
日本エキュメニカル功労賞(2016年度)受賞記念

### 参加団員募集

東京バッハ合唱団は、来年、創立55周年を迎えます。かつて内外の合唱界に衝撃をあたえた「日本語による《ロ短調ミサ曲》」の再演をもって、この年を記念することとなりました。

あわせて宗教改革500周年の年、バッハの老舗合唱団としては、敢えてルターの詩によるカンタータを撰ばず、ミサ通常文をテキストとした、バッハ畢生のミサ曲をもって、作曲家自身が極めた“普遍”の魂を歌い上げようとしています。ぜひご参加ください。

上演時期●2017年10月末頃(杉並公会堂、予定)。練習開始●本年9月より  
土曜日=15:30-17:30 荻窪教会 月曜日=18:30-20:30 目白聖公会

### バッハ演奏、なぜ日本語か？

◆東京バッハ合唱団は、創設いらい半世紀にわたり、わが国におけるバッハ演奏のパイオニアとして、教会カンタータを中心に多様なジャンルのバッハ合唱曲を紹介しつづけていますが、国内の公演においては、われわれの母語である“日本語”による上演を原則としてきました。

◆なぜ日本語か？ それは私たちが日本語で考え、思い、感じているからです。言語の壁は、心のもっとも奥深いところでなされる芸術的共感をはばんでいますが、訳詞演奏は、精神そのものである母語によってその壁を超えてみようとする一つの試みにほかなりません。

◆バッハ音楽の精神的背景には、母語をとおして神と直接向き合おうとするルターの思想が色濃く反映されています。またバッハにいたって、西洋音楽は個々のテキストの意味を形象化し、あるいはテキストの背後の理念や情感に音の形を与えることにより、ラテン語やドイツ語といった特定の言語の制約を超越するに至りました。

◆ですからバッハ音楽の中にあっては、どの言語圏の人々も安心して自分たちの母語に身をゆだねることができるのです。東京バッハ合唱団の日本語による演奏が、バッハ音楽の普遍性の証しとなることを確信しています。

[お問合せ/資料請求] 東京バッハ合唱団事務局：電話 03-3290-5731、メール office@bachchor-tokyo.jp、HPにて詳細 http://bachchor-tokyo.jp/



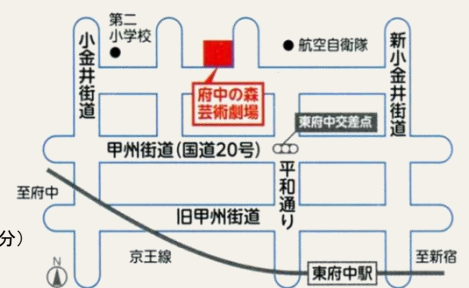
### [会場ご案内]

#### 府中の森芸術劇場 ウィーンホール

〒183-0001 府中市浅間町1-2  
Tel. 042-335-6211

<京王線>  
「東府中」駅 北口より徒歩7分  
(新宿駅から約25分、京王八王子駅から約20分)

<JR中央線>  
武蔵小金井駅 南口よりバス  
⑤番乗り場より約20分、徒歩約7分  
①番乗り場より約20分、徒歩約10分  
など



【チケット申込み】 03-3290-5732 (Fax 専用) メールご利用は、office@bachchor-tokyo.jp (下記の必要事項をご記載ください。書式自由)

第114回定期演奏会 (2016/12/3、府中の森芸術劇場) のチケットを申し込みます。  
前売り券：3500円 (全席自由席)

枚数:	お名前:	Tel/Fax または Mail: (必ずご記入ください)
お送り先ご住所: (〒 )		

▲お支払い方法: チケットに郵便振替用紙を同封いたしますので、折り返し、枚数分の代金をご近所の郵便局にてお振込みいただけます。